

平成29年度 基本評価調査

| | | | | | | | |
|-----|---------|------|------------------------|-------|------------|-------|---------|
| 施策名 | 誘客活動の推進 | 所管部局 | 経済部 | 作成責任者 | 観光振興監 木本 晃 | 施策コード | 05 — 05 |
| | | 照会先 | 観光局観光戦略G (内線26-564) | 関係課 | 観光局 | | |

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

【総合計画等の位置づけ】

| 政策体系 | 大項目(分野) | | 中項目(政策の柱) | | 小項目(政策の方向性) | | 総合計画の指標 | |
|-----------|--------------------------------|----------|-----------|---------------------------------|--|-------------------------|---------------------------|--|
| | 2 | 経済・産業 | (6) | 多彩な観光資源を活かした世界が憧れる観光立国北海道の更なる推進 | B | 国内外への効果的な誘客活動による旅行市場の拡大 | 道外からの観光入込客数 国際会議等の開催状況 | |
| 北海道創生総合戦略 | A3321 | 北海道強靱化計画 | B1732 | 新・北海道ビジョン | C00402,C00404,C00501,C00508,C00701,C00702,C00803 | | | |
| 特定分野別計画等 | 北海道観光のくまなく行動計画、北海道外国人観光客来訪促進計画 | | | | | | | |

1 目標等の設定

| 現状と課題 | 政策体系 | | 役割等 | | 施策目標 | 施策の予算額 | |
|--|-------|---|------|-----|--|--------|---------|
| | 政策体系 | 役割等 | 政策体系 | 役割等 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・北海道は、世界自然遺産の知床をはじめとする豊かな自然環境、四季折々の彩り鮮やかな景観、心を癒す温泉や新鮮な食、地域の風土や歴史が育んだ生活・文化などが大きな魅力となって、国内外から多くの観光客が訪れている。 ・本道を訪れる観光客が特定の時期や地域に偏る傾向があることや、今後の人口減少の進展による国内観光市場の縮小などが懸念されている。 ・人口の減少が進んでいる北海道において、観光による交流人口の増加がもたらすにぎわいや消費効果が今後も大変重要である。 | 2(6)B | 〔道〕 ・地域の資源や特性からテーマ性などを見だし、戦略的なプランのもとに誘客促進を進めていく。 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏をはじめ大都市圏など道外からの誘客はもとより、道民の道内旅行を促進していくとともに、国内の旅行需要の減少が懸念される中、将来有望な市場であるアジアなど、海外への戦略的な誘客活動を積極的に推進し、国内外に本道の魅力を広く発信して旅行市場の拡大を促進する。 ・北海道観光の着実な発展を図っていくため、LCCの就航や北海道新幹線開業などの好機を生かした効果的な誘客活動を促進する。 ・市町村など地域の関係者と連携し、官民一体となった戦略的なMICE誘致・開催を推進する。 | H27 | 335,089 |
| | | 〔(公社)北海道観光振興機構〕 ・本道観光の中核的推進組織として、道と一体となって、民間組織としての感覚や発想を生かしつつ、機動性と専門性を発揮し、北海道観光の振興に向けた取組を積極的に展開していく。 | | | | H28 | 698,560 |
| | | 〔民間〕 ・観光客のニーズに応えられる質の高いサービスの提供や交通ネットワークにおける利便性向上など、旅行形態の変化や観光ニーズの多様化に配慮して、事業活動を拡げていく。 | | | | | |
| | | 〔市町村〕 ・観光振興の主体として、観光客の誘致や観光情報の発信に取り組むとともに、様々な産業の連携・協力が円滑に進むよう、調整に努めていく。 | | | | H29 | 925,631 |

| | 政策体系 | 今年度の取組 | 政策体系 | 今年度の取組 |
|--|--------|--------|---|--------|
| | 今年度の取組 | 2(6)B | <p>◎北海道インバウンド加速化プロジェクトに沿って、アジアや欧米の市場別の戦略的な観光プロモーションを展開</p> <p>◎首都圏でのマスコミ向け記者発表会の実施など、首都圏を中心としたマスコミ、メディア、旅行会社やWEB媒体、SNSなどの発信力と拡散力を活用し、効果的な情報発信を実施</p> <p>◎成長が期待される観光市場や国内外との競争が激化する成熟市場に対して、きめ細かい効果的なプロモーションを展開</p> <p>◎安定的な外国人観光客数の増加を図るため、新たに欧米市場をターゲットとして、戦略的なプロモーション等を実施</p> <p>◎北海道新幹線開業効果を最大限に高めるため、東北地方や首都圏、関西圏、中部圏において、一般消費者に向けたPRイベントなど各種プロモーションを展開するとともに、旅行会社に対して、新幹線と併せた道内地方空港活用などの旅行商品の造成・販売を働きかける商談会などを開催</p> <p>◎本道へのコンベンション誘致を一層促進するため、地域の受入体制の充実を図るほか、道外のコンベンション主催者等に対して商談会を開催する。</p> <p>◎2020年東京オリンピック・パラリンピック等今後の大型のスポーツイベントの開催を見据え、本道に優位性のあるスポーツを核としたツーリズムを推進</p> | |
| | | | | |
| | | | | |

<前年度意見への対応>

| | | | |
|--------------------------------|--|------------------------------|--|
| 前年度付加意見 (二次政策評価における付加意見の内容) | | 付加意見への所管部局の対応 (H29年3月末時点) | |
| | | | |

Do & Check 施策評価

1-2 取組の結果

(1) 取組の実績と成果

| 政策体系 | 実績と成果等 | 関連する計画等 | | | 更に取り組が必要な事項 |
|-------|--|---------------|--------------|---|-------------|
| | | 北海道創生 総合戦略 | 北海道強靱 化計画 | 新・北海道ビ ジョン | |
| 2(6)B | 北海道新幹線開業効果の道内各地への波及や道内地方空港を活用した旅行商品造成などに向けて、北海道(観光局、航空局、新幹線推進室)と鉄道事業者(JR北海道、JR東日本)や航空会社(JAL、ANA、ADO、HAC)などの交通事業者等が連携して組織する「北海道広域観光・誘客促進研究会」を立ち上げ、研究会を開催し事業方針や事業内容について検討している。 | A3321 | | C00402.C00404.C00501.C00508.C00803 | |
| 2(6)B | 北海道新幹線開業効果を道内各地に波及させるため、東北地方、関東圏、関西圏、中部圏における旅行会社に対して、新幹線と併せた地方空港活用などの旅行商品の造成・販売を働きかける商談会などを実施する。 | A3321 | | C00402.C00404.C00501.C00508.C00803 | |
| 2(6)B | 地方空港の活用に向けた地域PRや北海道新幹線開業効果を最大限に高めため、新幹線沿線や首都圏、関西圏、中部圏における一般消費者に向けたPRイベントの開催やメディア等を活用した各種プロモーションを展開する。 | A3321 | | C00402.C00404.C00501.C00508.C00803 | |
| 2(6)B | 成長市場である中国、タイ・マレーシア、インドネシア・ベトナム・インドを対象とした現地セミナー、マスコミ・旅行会社招へい、商談会等を実施し、対象市場の状況やニーズに応じたプロモーションを展開する手法により、効果的にPRすることができた。 | A3321 | | C00402.C00404.C00501.C00508 | |
| 2(6)B | 成熟市場である台湾、韓国、香港、シンガポール、豪州等に向け、リピーター確保、個人旅行の推進を図るため、特定目的旅行や個人旅行向けルートのプロモーション、マスコミ・ブロガー・旅行会社招へい等を実施し、スキーやサイクリング、ウェディングなどをターゲットとした様々な手法により、効果的にPRすることができた。 | A3321 | | C00402.C00404.C00501.C00508 | |
| 2(6)B | 国際ミーティングエキスポへの参加、コンベンション誘致プロモーション活動、コンベンション誘致促進助成などを通じて、道外のコンベンション主催者等に対して、北海道のコンベンション環境が周知され、誘致が促進された。 | A3321 | | C00402.C00404.C00501.C00508.C00701.C00702 | |
| 2(6)B | 欧米市場をターゲットとした誘客を行い、安定的な外国人観光客数の増加を図るため、メディア招聘・WEB広告等を実施し、効果的なPRを行うことで、誘客が促進された。 | A3321 | | C00402.C00404.C00501.C00508 | |
| 2(6)B | 地域の既存のスポーツイベントを、外国人観光客誘致の誘致手法とし、メディア招聘・パンフレット作成等を通じて効果的な誘致が促進された。 | A3321 | | C00402.C00404.C00501.C00508 | |
| 2(6)B | 観光地における案内表示等の多言語化を図り、地域の受入体制を整備した。 | | B1732 | | |

(2) その他の取組の成果等

| | | | |
|-----------|--|-------------|--|
| 国等提案・要望状況 | <p>道が有する自然景観や食などといった優位性のある観光資源を活用し、国の目指す観光先進国化に貢献するため、国と地方の連携によるビジット・ジャパン事業の更なる推進のほか、MICEの誘致・開催など、地域における取組に対する支援強化も含め、積極的な誘客施策を展開するよう国に要望を行った。(平成29年7月)</p> <p>ビザ申請者の負担軽減を図ることで市場拡大につながる可能性が非常に高いことから、中国やフィリピン、ロシアなどにおいて、更なる訪日査証制度の緩和を推進するよう国に要望を行った。(平成29年7月)</p> | 施策に関する道民ニーズ | <p>北海道観光の中核的な組織である北海道観光振興機構から、人材育成・サービス向上、観光開発・振興、広報・プロモーションなどを要望事業として取りまとめた「北海道観光に関する平成29年度事業予算の要望」を受け、平成29年度予算編成の中で事業の具体化に努めた。(平成28年11月)</p> |
|-----------|--|-------------|--|

平成29年度 基本評価調書

| | | | |
|-----|---------|-------|---------|
| 施策名 | 誘客活動の推進 | 施策コード | 05 - 05 |
|-----|---------|-------|---------|

| | |
|---------------------------------------|-----------------|
| Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1) | Do & Check 施策評価 |
|---------------------------------------|-----------------|

2 連携の状況

(1) 施策間・部局間の連携

2-2 連携の取組状況

(1) 施策間・部局間の連携

| 政策体系 | 連携内容 | 連携先 | | 取組の実績と成果 |
|-------|---|-------|--------------|---|
| | | 施策コード | 関係部・関係課 | |
| 2(6)B | 新幹線や海外との航路・航空路の拡充により期待される国内外からの誘客を一層促進するため、新千歳空港の国際拠点空港化の促進をはじめ、鉄道、航空路、航路といった基幹的な交通ネットワークや交通基盤の充実を図る。 | N0204 | 総合政策部航空局 | 平成29年度の航空ネットワーク検討会議に航空局参事が出席。北海道の航空ネットワーク形成の考え方や各空港のめざす姿とその実現に向けた方策などについて、航空局と情報共有。 |
| | | N0204 | 総合政策部新幹線推進室 | |
| | | | | |
| 2(6)B | 「北海道MICE誘致推進協議会」を通じた総合政策部との連携により、北海道のコンベンション都市のPR等を実施 | N0206 | 総合政策部国際課 | 北海道MICE誘致推進協議会の実務者会議等に国際課職員が出席。北海道のMICE誘致促進に向け、国際課と連携、情報共有。 |
| | | | | |
| | | | | |
| - | 北海道の物産と観光展やどさんこプラザを通じた「食と観光」に関する取組を展開し、食の販路拡大や観光客誘致に向けた施策が互いに相乗効果を発揮することができるよう連携を図る。 | N0501 | 経済部食関連産業室 | 本年度は、次期「北海道観光のくにつくり行動計画」の策定年であり食分野施策との連携に向け、今後のスケジュール等を情報提供。 |
| | | | | |
| | | | | |
| - | 環境生活部と連携し、「オリ・パラの会」との連携やオリンピック選手などに参加を促すなど検討。 | - | 環境生活部スポーツ推進課 | 「北海道スポーツツーリズム戦略的誘客促進」の実施にあたり、「オリ・パラの会」と連携することで地方創生交付金を活用することができた。 |
| | | | | |
| | | | | |

(2) 地域・民間との連携・協働

2-2 (2) 地域・民間との連携・協働

| 連携内容 | 連携先 | 取組の実績と成果 |
|--|--------------------------|--|
| <p>海外からの誘客500万人の目標達成に向け、道民の観光に対する意識醸成や、観光関係団体以外をも含めたオール北海道による積極的な取組展開のため、「北海道インバウンド加速化プロジェクト」に沿った、アジアや欧米の市場別の戦略的な観光プロモーションを展開する。</p> | <p>地域の観光協会や観光事業関係者など</p> | <p>観光人材の確保・育成のため、地域において交通事業者等を対象とした研修会を実施。また、地域の観光協会等と連携し、誘致対象市場の特性・熟度に応じて、北海道の多様な魅力を効果的にプロモーションすることで、個人観光客やリピーターの獲得に繋がった。</p> |
| | | |
| | | |
| | | |

平成29年度 基本評価調書

| | | | |
|-----|---------|-------|---------|
| 施策名 | 誘客活動の推進 | 施策コード | 05 - 05 |
|-----|---------|-------|---------|

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1) | Do & Check 施策評価

3 成果指標の設定

3-2 成果指標の達成度合

| 主① | 指標名 | 目標の基準 | | 今年度の目標 | | 最終目標 | | 達成度合 | A(A) | 評価年度 | H28 | 達成度合の分析 ほか |
|--|------|------------------|------|--------------------------------|--------|-----------------------|------------------|------------------|------------------|-------------------------|---|------------|
| | | 基準年度 | H26 | 年度 | H29 | 最終年度 | H37 | | | | | |
| 道外からの観光入込客数 (うち外国人) | 基準年度 | H26 | 年度 | H29 | 最終年度 | H37 | 達成度合 | A(A) | 評価年度 | H28 | 中間年の目標は設定していないため、本指標の達成度合については総合計画における進捗の目安として目標値を設定している。 ・訪日外国人来道者数は大きく伸びており、道外客も、北海道新幹線開業等により増加している。 | |
| | 基準値 | 723万人 (154万人) | 目標値 | 1,000万人 (240万人) | 最終目標値 | 1,000万人 (300万人以上)※ | 年度 | H27 | H28 | 進捗率 | | |
| 【指標の説明】 道外から本道を訪れた観光客(国内及び外国人)の実人数 ※H29年度の目標値は、H37年度の最終目標とは異なり、参考値である。 なお、最終目標値については、根拠計画の変更を踏まえて改めて検討する。 | | 根拠計画 | 政策体系 | 増減方向 | 達成率の算式 | | 目標値 | 769万人 (200万人) | 789万人 (220万人) | 1,000 (300万人以上) ※ | | |
| 北海道総合計画 北海道観光のくにつくり行動計画 | | 2(6)B | 増加 | ((実績値-基準値)/(目標値-基準値)) × 100 | | 実績値 | 785万人 (208万人) | 824万人 (230万人) | 824万人 (230万人) | | | |
| | | | | | | 達成率 | 135% (117%) | 153% (115.2%) | 82.4% (76.7%) | | | |

| 主② | 指標名 | 目標の基準 | | 今年度の目標 | | 最終目標 | | 達成度合 | A | 評価年度 | H27 | 達成度合の分析 ほか |
|--|------|-------|------|--------------------------------|--------|------|--------|------|-------|------|--|------------|
| | | 基準年度 | h26 | 年度 | H29 | 最終年度 | h37 | | | | | |
| 国際会議等の開催状況 | 基準年度 | h26 | 年度 | H29 | 最終年度 | h37 | 達成度合 | A | 評価年度 | H27 | 「北海道MICE誘致推進協議会」への参画をはじめ、構成団体と連携して省庁訪問を行うなど、効率的に国際会議の誘致を行った効果が表れている。 | |
| | 基準値 | 107 | 目標値 | 116 | 最終目標値 | 140 | 年度 | H27 | H28 | 進捗率 | | |
| 【指標の説明】 道内で開催された国際会議の開催回数(日本政府観光局(JNTO)公表「国際会議統計」による) | | 根拠計画 | 政策体系 | 増減方向 | 達成率の算式 | | 目標値 | 110 | 113 | 140 | | |
| 北海道総合計画 | | 2(6)B | 増加 | ((実績値-基準値)/(目標値-基準値)) × 100 | | 実績値 | 114 | | 114 | | | |
| | | | | | | 達成率 | 233.3% | | 81.4% | | | |

| ● 本施策に成果指標を設定できない理由 | ● 達成度合について | | | | | |
|---------------------|-------------|--------|-----------------|----------------|-------|------|
| | 達成度合 | A | B | C | D | - |
| | 直近の成果指標の達成率 | 100%以上 | 90%以上 100%未満 | 80%以上 90%未満 | 80%未満 | 算定不可 |

| 整理番号 | 政策体系 | 指標 | 事務事業名 | 事務事業概要 | 課・局 室名 | 前年度からの 繰越事業費 (千円) | 平成29年度 | | | | | 創生 総合 戦略 | 強 靱 化 計 画 | 新・ 北 海 道 ビ ジ ョ ン | 前年度 付加意見 | 付加意見への 所管部局の対応 (H29年3月末時点) | 一次政策評価 | | | |
|------|-------|----|----------------------------------|---|-----------|-------------------------|-------------|----------------|-----|------|-------------------|----------------|-----------------------|---------------------------------------|-------------|--|--|---|------|------------------|
| | | | | | | | 事業費 (千円) | 執行体制 | | | フル コスト (千円) | | | | | | 点検事項 | | 方向性 | |
| | | | | | | | | うち 一般財 源 | 本庁 | 出先機関 | | | | | | | 人工計 | 付加意見への 所管部局の対応 (評価時点) | | 推 進 事 項 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 0333 | 2(6)B | | 地域観光戦略会議に関する事務 | 会議の進め方や成果に関する事務局(総合振興局、振興局)との連絡調整、会議の円滑な運営に向けたアドバイス、会議への出席 | 観光局 | | 0 | | 0.1 | 2.8 | 2.9 | 23,200 | | | | | | | 現状維持 | |
| 0334 | 2(6)B | 主① | 観光統計調査に関する事務 | 観光入込客数調査等の観光統計調査の取りまとめ、調査結果の公表 | 観光局 | | 2,933 | 2,933 | 1.4 | 5.2 | 6.6 | 55,733 | ○ | | ○ | | | | 現状維持 | |
| 0335 | 2(6)B | 主① | 観光プロモーション推進費(北海道観光誘致推進事業費)【一般施策】 | 本道の観光振興を図るため、(社)北海道観光振興機構が実施する各種宣伝事業に対し支援する。 (宣伝誘致事業、地域プロモーション事業等に係る負担金) | 観光局 | | 95,070 | 95,070 | 0.6 | 0.0 | 0.6 | 99,870 | ○ | | ○ | 会費の値上げや寄付金の募集等による自主財源の確保、事務事業の見直しによる経費の削減など、道の補助金等が団体の当期支出の2分の1を下回るような収支改善策を検討し、団体の自立化を推進すること。 | 観光に関わる幅広い事業者など会員への加入促進に努めるとともに、道と機構の連携の下、新たな自主事業の取組についても検討することで、財源の確保に努めていく。 | 機構においては、本年度、「自主財源確保に関する検討会議」を設置し、会員拡大の取組はもとより、新たな自主事業の可能性も含め、財源の確保に向けた検討を鋭意進めている。 | | 現状維持 |
| 0336 | 2(6)B | 主① | 観光プロモーション推進費(北海道観光誘致推進事業費)【団補】 | 本道の観光振興を図るため、(社)北海道観光振興機構が実施する各種宣伝事業に対し支援する。 (宣伝誘致事業、受入整備事業等に係る補助金) | 観光局 | | 61,110 | 61,110 | 0.2 | 0.0 | 0.2 | 62,710 | ○ | | ○ | 会費の値上げや寄付金の募集等による自主財源の確保、事務事業の見直しによる経費の削減など、道の補助金等が団体の当期支出の2分の1を下回るような収支改善策を検討し、団体の自立化を推進すること。 | 観光に関わる幅広い事業者など会員への加入促進に努めるとともに、道と機構の連携の下、新たな自主事業の取組についても検討することで、財源の確保に努めていく。 | 機構においては、本年度、「自主財源確保に関する検討会議」を設置し、会員拡大の取組はもとより、新たな自主事業の可能性も含め、財源の確保に向けた検討を鋭意進めている。 | | 現状維持 |
| 0337 | 2(6)B | | 観光関係資料の配付に関する事務 | 道内外の旅行エージェント及び一般から依頼のある道観光地のパンフレット等を郵送するとともに観光情報の提供 | 観光局 | | 0 | | 0.1 | 0.0 | 0.1 | 800 | ○ | | ○ | | | | 現状維持 | |
| 0338 | 2(6)B | | 国内宣伝誘致事業の支援・調整に関する事務 | 観光振興機構など観光業界等との調整及び市町村観光協会、NPOなどとの連絡調整事務 | 観光局 | | 0 | | 0.2 | 17.6 | 17.8 | 142,400 | | | ○ | | | | 現状維持 | |

| 整理番号 | 政策体系 | 指標 | 事務事業名 | 事務事業概要 | 課・局 室名 | 前年度からの 繰越事業費 (千円) | 平成29年度 | | | | | 創生 総合 戦略 | 強 靱 化 計 画 | 新・ 北 海 道 ビ ジ ョ ン | 前年度 付加意見 | 付加意見への 所管部局の対応 (H29年3月末時点) | 一次政策評価 | | | |
|------|-------|----|----------------------------|---|-----------|-------------------------|-------------|----------------|-----|------|-------------------|----------------|-----------------------|---------------------------------------|-------------|----------------------------------|--------|-----------------------------|------|----------|
| | | | | | | | 事業費 (千円) | 執行体制 | | | フル コスト (千円) | | | | | | 点検事項 | | 方向性 | |
| | | | | | | | | うち 一般財 源 | 本庁 | 出先機関 | | | | | | | 人工計 | 付加意見への 所管部局の対応 (評価時点) | | 推進 事項 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 0339 | 2(6)B | 主① | 体験型観光推進費(アウトドア活動振興環境整備事業費) | アウトドア活動の振興を図るため、北海道アウトドア資格制度の運営を通じ、アウトドアガイド・事業者のほか、より多くの道民が参加し、アウトドア活動を支える基盤づくりを推進する。 | 観光局 | | 468 | 256 | 0.7 | 0.5 | 1.2 | 10,068 | | | | | | | 縮小 | |
| 0340 | 2(6)B | | 道内体験型観光施設に関する事務 | 道内外の観光客に、道内の体験型観光施設等を知って、更には関心をもってもらうため、道内の観光を行っている施設・事業者すべてを調査し、その内容を公表 | 観光局 | | 0 | | 0.4 | 1.6 | 2.0 | 16,000 | | | | | | | 現状維持 | |
| 0341 | 2(6)B | 主① | 北海道教育旅行活性化事業 | 道内各地域毎に異なる自然、体験、歴史・平和学習などの素材を発掘して、地域の状況に合わせた教育旅行受入体制整備や商品化づくりなどの地域が連携した取組を支援する。 | 観光局 | | 37,732 | 37,732 | 0.6 | 0.6 | 1.2 | 47,332 | ○ | | ○ | | | | 拡充 | |
| 0342 | 2(6)B | 主① | 体験型観光持続化促進事業 | 本道に優位性のある体験型観光の活性化を図るため、情報発信やPRイベント等の取組を実施する。 | 観光局 | | 19,387 | 19,387 | 0.4 | 0.4 | 0.8 | 25,787 | ○ | | ○ | | | | 拡充 | |
| 0343 | 2(6)B | 主① | 閑散期誘客拡大事業 | 観光需要が低迷する閑散期の需要の拡大を図り、通年化を促進するため、道内事業者と一体となったキャンペーンを展開する。 | 観光局 | | 14,000 | 14,000 | 0.2 | 0.1 | 0.3 | 16,400 | ○ | | ○ | | | | 現状維持 | |
| 0344 | 2(6)B | 主① | どさんこ旅サロンの運営・利用促進事業 | 今後増加が予想される海外や道外からの観光客に対し、北海道の魅力をアピールする情報発信拠点として、札幌市と連携して東京・有楽町に設置した「どさんこ旅サロン」を運営する。 | 観光局 | | 12,720 | 12,720 | 1.1 | 0.1 | 1.2 | 22,320 | ○ | | ○ | | | | 現状維持 | |

| 整理番号 | 政策体系 | 指標 | 事務事業名 | 事務事業概要 | 課・局 室名 | 前年度からの 繰越事業費 (千円) | 平成29年度 | | | | | 創生 総合 戦略 | 強 靱 化 計 画 | 新・ 北 海 道 ビ ジ ョ ン | 前年度 付加意見 | 付加意見への 所管部局の対応 (H29年3月末時点) | 一次政策評価 | | | |
|------|-------|----|------------------------------|---|-----------|-------------------------|-------------|----------------|-----|------|-----|----------------|-----------------------|---------------------------------------|-------------|----------------------------------|-------------------|-----------------------------|------------------|-----|
| | | | | | | | 事業費 (千円) | 執行体制 | | | | | | | | | フル コスト (千円) | 点検事項 | | 方向性 |
| | | | | | | | | うち 一般財 源 | 本庁 | 出先機関 | 人工計 | | | | | | | 付加意見への 所管部局の対応 (評価時点) | 推 進 事 項 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 0345 | 2(6)B | 主① | 首都圏マスコミ・メディア等を活用した情報発信強化事業 | 首都圏を中心としたマスコミ、メディア、旅行会社やWEB媒体、SNSなどの発信力と拡散力を活用し、効果的な情報発信の強化を図る。 | 観光局 | | 53,116 | 53,116 | 0.6 | 0.2 | 0.8 | 59,516 | ○ | | | | | | 現状維持 | |
| 0346 | 2(6)B | 主① | 交通事業者等との連携による交流人口拡大事業 | 北海道新幹線開業効果を最大限活用し、地方への誘客を拡大するため、鉄道事業者と航空会社の共同により、新幹線や地方空港を組み合わせた旅行商品化を促進する | 観光局 | | 141,821 | 70,911 | 0.6 | 0.3 | 0.9 | 149,021 | ○ | | | | | | 縮小 | |
| 0347 | 2(6)B | 主① | 地域連携等による道外誘客促進事業 | 北海道新幹線や道内地方空港の活用による、道外からの誘客拡大と道内全域への誘客を促進するため、地域団体との連携による一般消費者向け国内プロモーションを実施する。 | 観光局 | | 161,777 | 161,777 | 0.8 | 0.3 | 1.1 | 170,577 | ○ | | | | | | 縮小 | |
| 0348 | 2(6)B | 主① | 観光プロモーション推進費(北海道ロケーション誘致推進費) | 本道の各地を映画・ドラマ等の舞台として活用し、地域の知名度を向上させ、ロケ地情報を効果的に活用し、観光客の誘致を進めるため、ロケ誘致・支援に取り組む。 | 観光局 | | 391 | 391 | 0.3 | 0.0 | 0.3 | 2,791 | ○ | | | | | | 縮小 | |
| 0349 | 2(6)B | 主① | コンベンション誘致促進事業 | 本道へのコンベンション誘致を行うため、国際ミーティングエキスポへの出展などを通じ、道外のコンベンション主催者に対して積極的なプロモーションを行う。 | 観光局 | | 12,579 | 12,579 | 0.4 | 0.0 | 0.4 | 15,779 | ○ | | | | | | 縮小 | |
| 0350 | 2(6)B | | 外客来訪促進法に関する事務 | 北海道外客来訪促進計画の推進管理、見直し等 | 観光局 | | 0 | | 0.5 | 0.0 | 0.5 | 4,000 | | | | | | | 現状維持 | |
| 0351 | 2(6)B | | 訪日教育旅行の本道への誘致に関する事務 | 訪日教育旅行の本道への誘致に関する宣伝活動、協議会の運営に関する事務 | 観光局 | | 0 | | 0.4 | 0.0 | 0.4 | 3,200 | ○ | | | | | | 現状維持 | |

| 整理番号 | 政策体系 | 指標 | 事務事業名 | 事務事業概要 | 課・局 室名 | 前年度からの 繰越事業費 (千円) | 平成29年度 | | | | | 創生 総合 戦略 | 強 靱 化 計 画 | 新・ 北 海 道 ビ ジ ョ ン | 前年度 付加意見 | 付加意見への 所管部局の対応 (H29年3月末時点) | 一次政策評価 | | | |
|------|-------|----|------------------------------|---|-----------|-------------------------|-------------|----------------|-----|------|-------------------|----------------|-----------------------|---------------------------------------|--|--|--|-----------------------------|------|------------------|
| | | | | | | | 事業費 (千円) | 執行体制 | | | フル コスト (千円) | | | | | | 点検事項 | | 方向性 | |
| | | | | | | | | うち 一般財 源 | 本庁 | 出先機関 | | | | | | | 人工計 | 付加意見への 所管部局の対応 (評価時点) | | 推 進 事 項 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 0352 | 2(6)B | | 外国人観光客の 受入体制の整備 に関する事務 | 外国人観光客受入体制 整備に係る企画・調査 事務、外国人観光客の ドライブ観光の促進に 関する事務、国際観光 ホテル整備法に基づき 立ち入り検査、国際観 光ボランティア活動の促 進に関する事務 等 | 観光局 | | 0 | | 0.4 | 0.0 | 0.4 | 3,200 | | | | | | | 現状維持 | |
| 0353 | 2(6)B | 主① | 北海道観光成長 市場開拓促進事 業 | 成長市場や新市場の開 拓に向け、対象市場の 状況やニーズに応じた プロモーションを展開す る。 | 観光局 | | 75,987 | 75,987 | 0.5 | 0.0 | 0.5 | 79,987 | ○ | | | | | | | 現状維持 |
| 0354 | 2(6)B | 主① | 北海道観光成熟 市場誘客促進事 業 | 国内外との競争が一段 と激しさを増す成熟市 場に対して、増加傾向 にあるリピーターや個人 旅行のFITの動きを踏 まえ、着実な誘客拡大 を図るため、プロモー ションを展開する。 | 観光局 | | 72,753 | 72,753 | 0.5 | 0.0 | 0.5 | 76,753 | ○ | ○ | 来年度の事業構 築に当たっては、 海外での情報発信 に当たり、同一国 で展開する食や観 光のWEB、SNSと の相互連携を検討 すること。 | 同一国で展開する 情報発信の際は、 関係部局と情報共 有を図っていく。 | 北海道上海事務所が 運用するSNSとの情 報共有・相互連携を 図った。 | | | 現状維持 |
| 0355 | 2(6)B | 主① | 観光関連施設等 投資促進事業 | 外国人観光客のニーズ に対応できる宿泊施設 を充実するため、道外・ 海外からの観光投資の 充実を図り、国際観光 地としてのブランド力を 高める。 | 観光局 | | 0 | | 0.5 | 0.0 | 0.5 | 4,000 | ○ | | | | | | | 現状維持 |
| 0356 | 2(6)B | 主① | 国際観光新商品 開発・販売促進事 業 | インバウンド事業者の 能力を最大限に引き出 し、道内の新たな観光 資源の発掘、磨き上げ 及び商品造成、さら には道内旅行会社の販 売ルートを活用して商 品の販売を実施し、よ り一層の外国人観光客 の誘致の促進を図る。 | 観光局 | | 22,329 | 22,329 | 0.4 | 0.0 | 0.4 | 25,529 | ○ | | | | | | | 縮小 |
| 0357 | 2(6)B | 主① | 北海道観光欧米 市場誘客促進事 業 | 新たに欧米市場からの 誘客を行い、安定的な 外国人観光客数の増加 を図るため、戦略的な プロモーション等を実施 する。 | 観光局 | | 70,945 | 70,945 | 0.4 | 0.0 | 0.4 | 74,145 | ○ | | | | | | | 縮小 |

| 整理番号 | 政策体系 | 指標 | 事務事業名 | 事務事業概要 | 課・局室名 | 前年度からの繰越事業費(千円) | 平成29年度 | | | | | 創生総合戦略 | 強靱化計画 | 新・北海道ビジョン | 前年度付加意見 | 付加意見への所管部局の対応(H29年3月末時点) | 一次政策評価 | | | |
|------|-------|----|-----------------------|--|-------|-----------------|---------|---------|------|------|------|-----------|-------|-----------|---------|--------------------------|-----------|---------------------|------|-----|
| | | | | | | | 事業費(千円) | うち一般財源 | 執行体制 | | | | | | | | フルコスト(千円) | 点検事項 | | 方向性 |
| | | | | | | | | | 本庁 | 出先機関 | 人工計 | | | | | | | 付加意見への所管部局の対応(評価時点) | 推進事項 | |
| 0358 | 2(6)B | 主① | 地方都市連携誘客促進事業 | 道東・道北地域への誘客回復を図るため、道外地方中核都市でのプロモーションを実施する。 | 観光局 | | 19,644 | 19,644 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 19,644 | ○ | | ○ | | | | 拡充 | |
| 0359 | 2(6)B | 主① | 北海道スポーツツーリズム戦略的誘客促進事業 | 2020年東京オリンピック・パラリンピック等今後の大型のスポーツイベントの開催を見据え、本道に優位性のあるスポーツを核としたツーリズムの振興を図る。 | 観光局 | | 43,389 | 21,695 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 43,389 | ○ | | ○ | | | | 縮小 | |
| 計 | | | | | | 0 | 925,631 | 832,815 | 16.2 | 31.9 | 48.1 | 1,310,431 | | | | | | | | |

平成29年度 基本評価調書

| | | | |
|-----|---------|-------|---------|
| 施策名 | 誘客活動の推進 | 施策コード | 05 - 05 |
|-----|---------|-------|---------|

Do & Check 施策評価の一次評価結果(各部局等による評価)

5 一次評価結果

(1)成果指標の分析

| 政策体系 | 達成度合の集計 | | | | | 判定 | 成果指標の分析 |
|-------|-------------|----------------------|---------------------|------------|-----------|---------|--|
| | A 100%以上 | B 90%以上 100%未満 | C 80%以上 90%未満 | D 80%未満 | - 算定不可 | | |
| 2(6)B | 3 | | | | | A・B指標のみ | <p>【道外からの観光入込客数(うち外国人) <A(A)>】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪日外国人来道者数は大きく伸びており、道外客も、北海道新幹線開業等により増加している。 <p>【国際会議等の開催状況(A)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「北海道MICE誘致推進協議会」への参画をはじめ、構成団体と連携して省庁訪問を行うなど、効率的に国際会議の誘致を行った効果が表れている。 |
| | | | | | | - | |
| | | | | | | - | |
| | | | | | | - | |
| | | | | | | - | |
| | | | | | | - | |
| 計 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | A・B指標のみ | |
| | 3 | | | | | | |

(2)取組の分析

| 基準1 (施策の推進に当たり対応すべきもの) | | 対応している (○あり→対応している) | 対応しているとする理由 |
|---|--|------------------------|---|
| 1 | 計画した取組を着実に進め、かつ社会情勢や道民の要請等を踏まえた課題等に対応しているか | ○ | 市町村など地域の関係者と連携し、官民一体となって、首都圏をはじめ大都市圏など道外からの誘客はもとより、道民の道内旅行を促進 |
| 基準2～4 (施策の推進に当たり取組が認められる) | | 取組がある (○あり→取組がある) | 取組があるとする理由 |
| 2 | 施策の推進に当たり、国等に要望・提案を行い、実現に向けて進捗しているか | ○ | 道内2つの広域観光周遊ルートの形成を促進し、国の目指す「観光先進国」化に貢献するため、財政的支援の拡充を図るよう国に要望。状況の進捗が認められる。 |
| 3 | 道民からのニーズを的確に把握し、施策推進に役立てているか | ○ | 北海道観光振興機構から、人材育成・サービス向上、観光開発・振興、広報・プロモーションなどを要望を受け、施策立案の参考としている。 |
| 4 | 施策の推進に当たり、他の施策・部局との連携による成果を確認できるか | ○ | 北海道の航空ネットワーク形成の考え方や各空港のめざす姿とその実現に向けた方策などについて、関係部局と情報共有しており、施策の推進に役立てている。 |
| | 施策の推進に当たり、地域・団体との連携・協働による成果を確認できるか | ○ | 観光人材の育成・確保のため、地域と連携した取組が認められる。 |
| 判定 (基準1が「○」で、かつ基準2～4のうち1つ以上に「○」がある→a、それ以外→b) | | | a |

(3)総合評価

| 成果指標の分析 | 取組の分析 | 総合評価 |
|---------|-------|---------|
| 判定(計) | 判定 | |
| A・B指標のみ | a | 概ね順調に展開 |

(4) 対応方針(次年度に向けての課題と今後の方向性)

| 対応方針 | | | (関連する計画等) | | |
|------------|-------|--|---------------|--------------|--|
| 対応方針 番号 | 政策体系 | 内 容 | 北海道創生 総合戦略 | 北海道強 靱化計画 | 新・北海道 ビジョン |
| ① | A3321 | 首都圏をはじめ大都市圏など道外からの誘客はもとより、道民の道内旅行を促進していくとともに、国内の旅行需要の減少が懸念される中、将来有望な市場であるアジアなど、海外への戦略的な誘客活動を積極的に推進し、国内外に本道の魅力を広く発信して旅行市場の拡大を進めていく。 | A3321 | | C00402,C00404,C00501,C00508,C00701,C00702,C00803 |
| ② | | | | | |
| ③ | | | | | |
| ④ | | | | | |
| ⑤ | | | | | |
| ⑥ | | | | | |
| ⑦ | | | | | |
| ⑧ | | | | | |

平成29年度 基本評価調書

| | | | | | |
|-----|---------|-------|----|---|----|
| 施策名 | 誘客活動の推進 | 施策コード | 05 | — | 05 |
|-----|---------|-------|----|---|----|

Check 施策評価・事務事業評価

6 二次評価結果（知事による評価）

（1）施策評価

| | |
|---------|--|
| 付 加 意 見 | |
|---------|--|

（2）事務事業評価

| 意見区分 | 整理番号 | 事務事業名 | 二次政策評価意見 |
|-------------------|------|----------------------------------|--|
| 前年度評価結果への対応（関与団体） | 0335 | 観光プロモーション推進費（北海道観光誘致推進事業費）【一般施策】 | 会費の値上げや寄付金の募集等による自主財源の確保、事務事業の見直しによる経費の削減など、道の補助金等が団体の当期支出の2分の1を下回るような収支改善策を検討し、団体の自立化を推進すること。 |
| | 0336 | 観光プロモーション推進費（北海道観光誘致推進事業費）【団補】 | |

平成29年度 基本評価調書

| | | | |
|-----|---------|-------|---------|
| 施策名 | 誘客活動の推進 | 施策コード | 05 - 05 |
|-----|---------|-------|---------|

Action 施策・事務事業評価

7 施策評価結果の反映（各部局等が実施）

（1）一次評価結果への対応

| 対応方針 番号 | 対 応 |
|------------|--|
| ① | <p><新たな取組等> 観光による交流人口を増加させるため、メディアや集客力のあるイベントなどを活用した積極的なプロモーション、北海道新幹線を生かした首都圏や東北との連携などにより道外からの誘客の促進・強化を進めるとともに、海外からの誘客促進については、国・地域ごとに市場の熟度や特徴に応じたターゲットの絞り込みやそれに応じたプロモーション活動を行っていく。 （地域連携等による道外誘客促進事業、北海道観光欧米市場誘致促進事業など）</p> |
| ② | |
| ③ | |
| ④ | |
| ⑤ | |
| ⑥ | |
| ⑦ | |
| ⑧ | |

（2）二次評価結果への対応

| 意見区分 | 所管部局の対応 | 意見区分 | 所管部局の対応 |
|------|---------|------|---------|
| | | | |

平成29年度 基本評価調書

| | | | |
|-----|---------|-------|---------|
| 施策名 | 誘客活動の推進 | 施策コード | 05 — 05 |
|-----|---------|-------|---------|

Action 事務事業評価

8 事務事業評価結果の反映（各部局等が実施）

（1）一次評価結果への対応

| 区分 | 方向性 | 見直し検討 | 拡 充 | 現状維持 | 縮 小 | 統 合 | 廃 止 | 終 了 | 合 計 |
|------|-----|-------|------|-------|------|------|------|------|-------|
| 評価結果 | | 0 事業 | 3 事業 | 23 事業 | 9 事業 | 0 事業 | 0 事業 | 0 事業 | 35 事業 |
| 反映結果 | | - 事業 | 0 事業 | 26 事業 | 7 事業 | 0 事業 | 2 事業 | 0 事業 | 35 事業 |

| 次年度新規事業 (予定) |
|-----------------|
| 0 事業 |

| 整理番号 | 事務事業名 | 一次政策評価 結果(再掲) | H30年度の 方向性 |
|------|----------------------------------|------------------|---------------|
| 0325 | 観光振興費(観光振興諸費) | 縮小 | 現状維持 |
| 0326 | 関係機関・団体・関連産業に関する事務 | 現状維持 | 現状維持 |
| 0327 | 観光地放射線モニタリング調査に関する事務 | 現状維持 | 廃止 |
| 0328 | 旅行業法に基づく登録事務 | 現状維持 | 現状維持 |
| 0329 | 観光のくにつくり条例に関する事務 | 現状維持 | 現状維持 |
| 0330 | 観光審議会に関する事務 | 現状維持 | 現状維持 |
| 0331 | 観光のくにつくり行動計画に関する事務 | 現状維持 | 現状維持 |
| 0332 | 新たな財源確保に関する事務 | 現状維持 | 現状維持 |
| 0333 | 地域観光戦略会議に関する事務 | 現状維持 | 廃止 |
| 0334 | 観光統計調査に関する事務 | 現状維持 | 現状維持 |
| 0335 | 観光プロモーション推進費(北海道観光誘致推進事業費)【一般施策】 | 現状維持 | 現状維持 |

| 整理番号 | 事務事業名 | 一次政策評価 結果(再掲) | H30年度の 方向性 |
|------|--------------------------------|------------------|---------------|
| 0336 | 観光プロモーション推進費(北海道観光誘致推進事業費)【団補】 | 現状維持 | 現状維持 |
| 0337 | 観光関係資料の配付に関する事務 | 現状維持 | 現状維持 |
| 0338 | 国内宣伝誘致事業の支援・調整に関する事務 | 現状維持 | 現状維持 |
| 0339 | 体験型観光推進費(アウトドア活動振興環境整備事業費) | 縮小 | 縮小 |
| 0340 | 道内体験型観光施設に関する事務 | 現状維持 | 現状維持 |
| 0341 | 北海道教育旅行活性化事業 | 拡充 | 縮小 |
| 0342 | 体験型観光持続化促進事業 | 拡充 | 縮小 |
| 0343 | 閑散期誘客拡大事業 | 現状維持 | 現状維持 |
| 0344 | どさんこ旅サロンの運営・利用促進事業 | 現状維持 | 現状維持 |
| 0345 | 首都圏マスコミ・メディア等を活用した情報発信強化事業 | 現状維持 | 現状維持 |
| 0346 | 交通事業者等との連携による交流人口拡大事業 | 縮小 | 現状維持 |
| 0347 | 地域連携等による道外誘客促進事業 | 縮小 | 縮小 |
| 0348 | 観光プロモーション推進費(北海道ロケーション誘致推進費) | 縮小 | 縮小 |
| 0349 | コンベンション誘致促進事業 | 縮小 | 縮小 |
| 0350 | 外客来訪促進法に関する事務 | 現状維持 | 縮小 |
| 0351 | 訪日教育旅行の本道への誘致に関する事務 | 現状維持 | 現状維持 |
| 0352 | 外国人観光客の受入体制の整備に関する事務 | 現状維持 | 現状維持 |
| 0353 | 北海道観光成長市場開拓促進事業 | 現状維持 | 現状維持 |

| 整理番号 | 事務事業名 | 一次政策評価結果(再掲) | H30年度の方向性 |
|------|-----------------------|--------------|-----------|
| 0354 | 北海道観光成熟市場誘客促進事業 | 現状維持 | 現状維持 |
| 0355 | 観光関連施設等投資促進事業 | 現状維持 | 現状維持 |
| 0356 | 国際観光新商品開発・販売促進事業 | 縮小 | 現状維持 |
| 0357 | 北海道観光欧米市場誘客促進事業 | 縮小 | 現状維持 |
| 0358 | 地方都市連携誘客促進事業 | 拡充 | 現状維持 |
| 0359 | 北海道スポーツツーリズム戦略的誘客促進事業 | 縮小 | 現状維持 |

(2) 二次評価結果への対応

| 意見区分 | 整理番号 | 事務事業名 | 所管部局の対応(今後の方向性) (H30年3月末時点) |
|-----------------------|------|----------------------------------|--|
| 前年度評価結果への対応 (関与団体) | 0335 | 観光プロモーション推進費(北海道観光誘致推進事業費)【一般施策】 | 道と機構が共同で実施する負担金事業については、道が負担金を措置し、機構や民間などにおいても(道の負担を上回る)事業推進に必要な応分の負担を行い事業を実施している。 |
| | 0336 | 観光プロモーション推進費(北海道観光誘致推進事業費)【団補】 | なお、機構が本道観光の中核的な役割を担っていくためには、安定的な財源基盤を確立していく必要があると考えており、新たな自主事業の検討や会員拡大についても団体に求めている。 |